

種別	工種	事例名	シート番号
漏水	空調換気	引渡しから2年後に融着継手部より漏水	1-7

### 不具合事例・状況

竣工引渡しから2年経過後に、冷温水配管(クウチョウハイパー)の融着継手部分より漏水し、天井仕上げが水損した。

### 原因

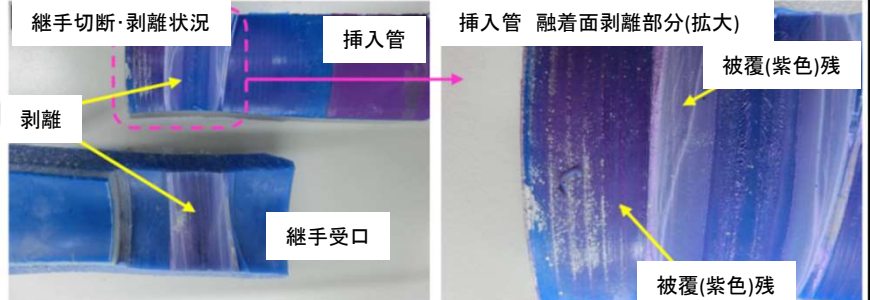
当該融着接合箇所において、融着完了を示すインジケータは正常であったが、漏水発生部分のサンプルをメーカーにて検証したところ、施工時の融着作業の際に直管側のスクレーブ(皮むき)に不備があることが判明した。

### メーカーによるサンプル検証

満水試験



サンプル破壊検証



### 対処方法

当該箇所を切除し、新たに融着接合にて再施工後、目視・触診による確認およびメーカー基準に則り水圧試験を実施した。

### 再発防止対策

- 融着接合部の不具合(漏水)はほぼメーカーが定めた要領から逸脱した場合が殆どであるので、メーカーの作業講習受講者が作業することはもちろんのこと、必ずメーカー施工要領に則り施工する。
- スクレーブ不足でもインジケータが隆起することがあるため過信せず、必ずメーカー作業要領に則り施工する。
- スクレーブ作業や融着施工に関しては、電圧や照度などの環境が整った場所で作業する。

メーカー 施工要領(例)



備考

参考文献 :

参考メーカー: 積水化学工業株式会社

制定

2023年3月1日

改訂